

特別支援教育部会だより

年度末を迎え、部会員の皆様には忙しい毎日をご過ごされていることと存じます。今年度「特別支援教育部会」の活動にご協力いただき、本当にありがとうございました。

アンケート結果については、ホームページに掲載させていただきました。忌憚のないご意見ご要望、ありがたく受け止めさせていただきました。

昨年度末の部会便りでお知らせし、アンケートにも載せました通り、次年度につきましては課題部会研究協議会の持ち方を次のように考えております。

※第1部（約80分）

研究課題を元に、分科会テーマに沿った内容のレポート交流

※第2部（約80分）

講演会「高等支援学校～入学からその先の進路まで」（仮）

第1部については、今まで通りのレポート交流を行います。小グループを活用し、できるだけ皆さんがお話できるような形式をとりたいと思います。

第2部については、以前より希望の多かった講演会を企画しています。

あいの里高等支援学校および白樺高等養護学校より講師の先生をお招きし、実際に制度が変わる高等支援学校の入学から、子供たちの日常生活、そしてその先に待ち受ける進路など、現場の目で見ただけのまの高等支援学校・高等養護学校についてお話を伺おうとお願いしているところです。

講演会の会場については、南北ブロックごとに分かれていますが、事務局で講演内容については打ちあわせをし、できるだけ同じような項目についてお話ししていただくことになっております。

ですので、「あっちが聞きたいから別ブロックに当日参加」ということのないようお願いいたします。なお、講演会のみでの参加ではなく、第1部でレポートを持ち寄っての交流への参加をお願いします。

研究課題と研究内容については、次の通りです。

2年次研究の2年目です。具体的な内容には大きな変化はありません。

研究課題	通常学級における、個別に教育的配慮を要する児童生徒一人一人のニーズに応える教育的支援はどうあるべきか。
研究内容と キーワード	研究内容①「通常学級における、主に学習に困難のある児童生徒への支援」 ・読み、書き、計算 ・学習準備の困難、忘れ物等 ・注意散漫、離席等
	研究内容②「通常学級における、社会性に発達の遅れやコミュニケーションに障害があり、主に集団での生活場面に困難のある児童生徒への支援」 ・ルールの理解 ・こだわり ・自傷、他害 ・破壊行為 ・被虐待児等
	研究内容③「通常学級における、特別の支援を要する児童生徒への校内支援体制や、関係機関との連携」 ・就学指導、進路指導（幼小中高の連携）・医療機関等の関係機関との連携 ・教育相談のあり方 ・担任、コーディネーターとしての役割 ・校内の支援体制

基本的には2年目なのですが、研究内容を変更するというのはできると思うので、上の研究内容を参考に登録をお願いします。

毎年ではありますが、研究課題・分科会内容にあるとおり「通常学級における特別支援教育」が研究の中心となります。

特別支援学級担当の先生も、その点を考慮し、通常学級においての効果的な支援方法を中心に据えて、レポート作成や話し合いに参加していただければと思います。

☆ご不明な点がありましたら、事務局までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

事務局：工藤（恵庭小）

TEL: (0123) 32-3288 FAX: (0123) 32-3289

Mail: kdms810@yahoo.co.jp